Governor's Monthly Letter vol.8

世界に希望を生み出そう

ガバナー月信

FEBRUARY 2
2024

Rotary International District 2800 2023-2024
題字：野村百合子（山形北 RC）
国際ロータリー第 2800 地区 2023-2024 年度｜ガバナー 伊藤三之｜RI 会長 ゴードン R・マッキナリー

CONTENTS

ガバナーマンスリーメッセージ
能登半島地震支援金について
国際協議会RI会長エレクトテーマ講演
ローターアクトクラブからのお知らせ
羽黒高校インターアクトクラブ活動視察報告
米山 New Year Party
第4回青少年交換オリエンテーション
青少年交換学生マンスリーレポート
ガバナー公式訪問報告
ガバナー表敬訪問報告
新会員紹介
米山寄付表彰・ロータリー財団寄付表彰

最上川の下流
「本合海」
（山形県新庄市本合海）

Rotary
District 2800

写真提供：美しい山形・最上川フォーラム
山形の宝 最上川の文化的資産50選写真コンテスト 佳作
タイトル：水面の輝き
撮影者：渡辺哲志郎 氏（東根市）
撮影場所：本合海の渡船場跡

1　正月に能登半島大地震！

２０２４年は、波乱の幕開けとなりました。１月１日に能登半島を襲った大地震により、犠牲となられた方々、被災された方々に心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

居ても立ってもいられない気持ちは皆さまもご一緒で、震災直後から、多くのクラブの方々から、ロータリアンとして災害支援金を送りたいがどのようにすればいいのか、地区として取りまとめてもらえないかというお問い合わせをいただきました。日本国内３４地区のガバナーによるガバナー会で調整した結果、可能な限り各地区が取りまとめて、第２６１０地区（石川・富山）の原ガバナーが指定した災害支援金口座に振り込んで送金することになりました（詳しくは、３頁の記事をご覧ください）。

地区では、毎年、皆さま方から１人１０００円の「災害等救援特別基金」をいただいております（地区研修・協議会決議事項）。第２８００地区は約１５００名の会員ですから、毎年約１５０万円の特別基金の積立がなされることになります。その中から、その都度災害支援金を拠出することになります。例えば、昨年７月中旬の秋田豪雨災害に対しては、地区として７５万円（会員１人当たり５００円計算）の災害支援金を第２５４０地区（秋田）に送金しております。

そして、今回の能登半島地震。今年度の「災害等救援特別基金」の残金は約７５万円ですが、これまでの積立金残金から一部取り崩し、１５０万円（会員１人当たり１０００円計算）を早速第２６１０地区（石川・富山）に送金済みです。

今後は、各クラブからの支援金を地区が取りまとめて、随時先方に送金する予定です（受付期間は３月２９日まで）。

皆さま方の絶大なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

このような大震災などを経験する度に痛感することは、結局、私たちは誰一人として、自分だけでは生きていくことさえできないこと、みんなで協力し合わなければ社会的な生活が成り立たないという事実です。お互いが、自分のできることは何かを考えて、手を取り合い、支え合いながら行くていくしかないわけです。「利他のこころ」をロータリアンとして全うしたいものです。

2　インターアクトクラブの活動視察に参加してみましょう！

第２８００地区内には８つのインターアクトクラブ（県立鶴岡中央高校、鶴岡東高校、羽黒高校、新庄東高校、創学館高校、惺山高校、県立南陽高校、九里学園高校）があり、それぞれが活発な活動を繰り広げています。

今年度も昨年度に引き続き、ガバナー始め地区関係者、スポンサークラブ関係者によるインターアクトクラブ表敬訪問を、インターアクターの活動を認知していただくべく、インターアクターが実際に活動している時間帯に訪問して、インターアクターの活動に参加したり、相談を受けたりしながら様々な活動を視察する形にしております。

２０２３年９月８日（金）に創学館高校インターアクトクラブの活動視察（月信１１月号）、１０月５日（木）に県立南陽高校インターアクトクラブの活動視

察(月信１２月号)、１２月２０日(水)に羽黒高校インターアクトクラブの活動視察(前頁上部の写真、本号９頁)、２０２４年１月１６日(火)に新庄東高校インターアクトクラブの活動視察(月信３月号)、１月２６日(金)に県立鶴岡中央高校インターアクトクラブの活動視察(月信３月号)が行われました。

その他の高校のインターアクトクラブについても、今年度中に順次活動視察を行いますので、是非、多くのロータリアンにご参加いただき、インターアクト活動に対するご理解を広げていきたいと考えております。

3　新年度の米山奨学生が決定しました！

２０２４年４月からの新しい米山奨学生が決定しました。継続が５名、新規が７名の方々です。昨年１２月１０日に新規枠７名の選考会がありました。実質競争率が２倍程度の狭き門でした。

多くのクラブに米山奨学生の世話クラブ及びサブ世話クラブとしてのご協力をお願いするとともに、狭き門を通った米山奨学生には、母国と日本のかけ橋になれるよう奮起を促したいと思います。

奨学生には、奨学期間中のローターアクターとしての活動も期待したいと思っております。

新しい米山奨学生については、追って次号以降の月信でご紹介いたします。

さて、先般、１月１３日(土)の夕方から、パレスグランデール内のイタリアンレストラン「コンフェッティ」にて、今年度の米山奨学生のニューイヤーパーティーが開催され、和気あいあいとした懇談となりました(上の写真)。

4　ポリオ募金の送金をしました！

月信１２月号でもご報告させていただきましたが、昨年１１月１２日に開催された地区大会の中で、ポリオチャリティ募金活動を実施しました。

皆さまからの絶大なるご協力を得て、総額３０万２１０円の募金を寄せていただきました。本当にありがとうございました。

また、毎年開催されております山形市内７ＲＣクラブ対抗ゴルフコンペに関して、今年度は「ポリオチャリティコンペ」の副題を冠して実施(昨年１０月２９日)していただきました。その結果、８万7,５００円の募金を寄せていただきました。

結果、総額３８万7,７１０円の募金が集まりました。ただ、この企画のために、御礼用のポリオボールペンやオリジナルゴルフマーカーの製作、キャンペーン用の募金箱や黄色いポリオベストなどを購入させていただき１５万円程度の経費を差し引いた残額(２３万9,３２０円)をこの度財団に寄贈させていただきました。

もちろん、今回購入したキャンペーン用の募金箱や黄色いポリオベストなどは、地区の備品となりますので、今後、いつでもご利用できますし、皆さまのクラブでポリオチャリティ募金活動などを行う際には、地区事務局にお声がけいただれば貸し出しすることも可能です。

さらに、私が昨年１２月２８日(木)に寒河江ＲＣの「年忘れ家族会」におじゃました際にお預かりしたポリオチャリティ募金２万8,３４０円も合わせて送金したことをご報告いたします。寒河江ＲＣみなな様、誠にありがとうございました。

国際ロータリー第２８００地区
ロータリークラブ会長　各位

能登半島地震　支援金についてのお願い

国際ロータリー第２８００地区
ガバナー　　伊藤　三之

拝啓　厳寒の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より地区ロータリー活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、２０２４年１月１日に石川県能登地方で発生しました地震災害に於いて、甚大な被害がでております、第２６１０地区 原 勉ガバナーより､ガバナー会を通して被災地や被災者支援を目的とした支援金の要請がありました。第２８００地区では、今年度各クラブより送金して頂いております｢地区災害等救援特別基金｣より、７５万円を昨年の秋田豪雨災害の際に拠出しているため、今回についてはその残額に積立金を取り崩して、合計１５０万円を拠出させていただきます。

また、その他にご協力頂けるクラブからの支援金があれば、地区で取りまとめて送金いたしますので、クラブごとに下記口座へ送金してください。

送金締切につきましては、相手方の受付期間の関係で、**３月２０日まで**とさせていただきます。貴クラブ会員皆様のご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

●能登半島地震支援金　送金口座

送金口座：山形銀行　寿町支店　普通預金　６２０４３２
口座名義：国際ロータリー第２８００地区Ｇ事務所　資金委員長　伊藤明彦

●送金締切：３月２０日(水)

●送信先：国際ロータリー第２８００地区 地区事務局(office@rid2800.org / FAX 023-687-0209)

※ご送金の際には､【能登半島地震支援金　送金明細書】を必ず送付してください。

国際ロータリー全国３３地区
ガバナー 各位

令和６年能登半島地震 支援金について

国際ロータリー第２６１０地区
令和６年能登半島地震災害支援本部
ガバナー　　原　勉

謹啓　令和６年１月に石川県能登地方で発生した地震災害により当地区内で甚大な被害が生じております。ガバナー会をはじめ、他地区からもお見舞いのお言葉やご支援に関する声が寄せられており、衷心より深く感謝を申し上げます。

当地区では､｢令和６年能登半島地震災害支援本部｣を設置し、被災地や被災者支援を目的とした支援金の受け付けを開始いたします。大変お手数をお掛けいたしますが、各地区内でご周知いただき、地区ごとに支援金をお取り纏めいただきご送金いただけますようお願い申し上げます。

謹白

●救援金の使途　国際ロータリー第２６１０地区令和６年能登半島地震災害支援本部において、必要とする支援について情報収集し、皆様からの浄財を有効に活用させていただきます。使途内訳は支援金使用終了後、速やかにご報告申し上げます。

●受 付 期 間　**２０２４年１月１０日(水)～２０２４年３月２９日(金)**

●お振り込み先　銀 行 名：北陸銀行（金融機関コード０１４４０１４４）
支 店 名：新神田支店（フリガナ：シンカンダシテン）（支店番号３３０３３０）
種　　別：普通
口座番号：６０８２２１８
口座名義：国際ロータリー２６１０地区 地区特別基金 特別会計
フリガナ：コクサイロータリー２６１０チク チクトクベツキキン トクベツカイケイ
※振込名について：地区番号の前にNをつけてください
例：N２６１０N２６１０（地区名）←可能であれば左記の名義でお願いします

ご送金後、別紙の送金明細書に必要事項をご記入の上、お知らせくださいますよう併せてお願い申し上げます。

２０２４ー２５ 年度テーマ講演

ステファニー A. アーチック
国際ロータリー会長エレクト
２０２４年１月８日

ロータリーファミリーの皆さま、こんにちは。魅力あふれるチーム(the Irresistibles)である２０２４ー２５年度地区ガバナーの皆さまに向けてお話しでき光栄です。私が皆さまを「マイファミリー」(私の家族)と呼ぶとき、単に親切心からそうしているわけではありません。本当に、皆さまを家族同様に思っています。

今日は、ロータリーファミリーのとても大切なメンバーたちに特別なスポットライトを当てることから始めたいと思います。数週間後に私は、素晴らしいヘルスワーカーの女性たちとお会いするためにパキスタンを訪れます。ポリオをあらゆる場所から根絶することは、パキスタン全土でこの難しい仕事を一つずつこなすことを意味します。それは、困難で、時には危険な仕事です。女性たちは、文字通り、山を登って人里離れた場所で子どもたちに予防接種をしますが、それは困難さの半分にも及びません。彼女たちは、誤情報や先入観と絶えず闘わなければなりません。

パキスタンで、そして世界でポリオが根絶されたら、その大部分はこれらの女性たちのおかげです。

皆さまの多くはこれらのワーカーと決して会うことはないでしょう。でも、皆さまが彼女たちをサポートし、その貢献を大切にしていることを、パキスタンに行ったら彼女たちに知ってもらいたいと思います。現地で彼女たちとシェアできるよう、ぜひ総立ちの拍手を送ってください…。カメラの準備をしますので、ちょっとお待ちください。

大きな拍手に加えて、これらのヘルスワーカーとポリオ根絶活動を支援する最善の方法は、認識向上と資金調達です。クラブまたは地区のポリオプラス・ソサエティへの参加や設立は、今からでも遅くありません。私たちの寄付に対しては、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団が引き続き２倍額を上乗せしますが、年次募金目標である５,０００万ドルを私たちが達成することが条件となります。

認識向上を促すには、地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項でありがたいことに、活動をしやすくし、クラブでの体験を魅力的なものとするために、ロータリーの行動計画があります。そこからロータリーのマジック(魔法)が始まります。分断された世界を癒すには、そのマジックが必要です。世界の武力紛争と避難民の数は、驚くほどのスピードで増加しています。ポジティブなインパクトをもたらしたければ、私たちがベストを尽くす必要があります。

これは、組織としての私たち自身について、いくつかの変更を加える必要性があるかもしれないことを意味します。変化に対して不安を感じるかもしれませんが、私たちが共に変化すればそれも和らぎます。

そのことを念頭に、クラブがよりよくなるために変化し、ロータリーの強さを維持できるよう、皆さま全員に行動計画の推進者となっていただくようお願いいたします。行動計画には継続の余地が十分にあります。この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくものです。

行動計画は、地区内のクラブでの体験をよりよくするのに役立つ手段であると考えてください。皆さまには影響力があることを忘れないでください。クラブを設立するのは地区ガバナーです。皆さまは、クラブのリーダーが創造的に考え、既存会員と将来の会員のために魅力的な体験を生み出せるよう後押しできます。これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去５０年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。行動計画は、クラブの強みと弱み、改善点を特定する上で役立つものです。

地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれません。クラブ会員が何を望んでいるのかを尋ね、地域社会のニーズとの橋渡しをしましょう。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません。地区ガバナーである皆さまには、向上する力をクラブ会員に与える素晴らしい機会があります。

地区内のクラブ会員と連絡を取り、クラブでの体験はどうか、クラブをよりよくするために何ができるかを尋ねてみてください。また、まだ入会していないけれどロータリー会員になるべき地元のリーダーと話すことを検討してください。その人たちはロータリーのことを知らないのかもしれません。あるいは、地元クラブの現在の構造がその人たちに適していない可能性もあります。

心からクラブへの帰属意識を持てずにいる会員がいることにも気づくかもしれません。だからこそ、多様性、公平さ、インクルージョン、そして帰属意識へのコミットメントを広げることが重要です。

奉仕の心と実行力のある人は誰でも、ロータリーに属しています。行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても。ＤＥＩを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注ぐことで、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます。

しかし、活動はそこで終わるわけではありません。私たちがクラブについて人びとに伝えなければ、クラブが魅力的であると誰も知ることはありません。事実、この困難の時代に前向きなイメージを広げ、積極的平和を広げるには、ストーリーテラー（語り部）が必要とされます。

平和構築は私の最優先事項の一つであり、この国際協議会は地区ガバナーとなるための準備以上のものです。ロータリーの平和構築プログラムとイニシアチブを支援するための行動喚起のときなのです。

そのようなプログラムの一つに、ロータリー平和フェローシップがあります。これは、平和と開発の専門家が紛争の終結と防止に取り組むのを支援するために、２０年以上前に始まったロータリー財団のプログラムです。

私たちは、世界各地の名門大学にあるロータリー平和センターで学ぶためのフェローシップを提供します。これまでに１,８００人以上の平和フェローがロータリー平和センターを卒業し、よりよい世界を築くために現在１４０カ国以上で活躍しています。

また、オットー＆フラン・ウォルター財団（Otto and Fran Walter Foundation）からの１,５５０万ドルのご寄付のおかげで、トルコのイスタンブールにあるバーチェシェヒル大学に設置される平和センターで、もっと多くの地域の平和構築者を引き続き支援できます。

第一期生たちは２０２５年初旬にイスタンブールに到着します。これを記念し、ロータリー会員、ロータリー平和フェロー、積極的平和アクティベーターなどの人たちが、２０２５年２月に予定されているロータリー会長平和会議に集います。

この会議のテーマは、「分断された世界を癒す」です（もうすぐ発表する年次テーマではありません）。この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります。

平和会議についての詳細は、シンガポールで開催される国際大会で伝えられます。現地で皆さまにお会いするのが待ちきれません。

それまでの間、皆さまと地区の会員は、平和の推進のために多くのことを行うことができます。地域社会で平和への希望を広めたいという会員は、地元の公園や遊び場、人びとが集う場所にピースポールを設置できます。私が最も好きな平和構築の手段の一つに、「四つのテスト」があります。すべてのロータリー会員が、単に四つのテストを暗唱するのではなく、それを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう。

ロータリー会員が平和構築活動を支援する方法はたくさんありますが、今日、覚えておいていただきたいことが一つあります。それは、平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければならないということです。

思いやりある行動を取ることで、不安や落ち込んだ心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことができます。私たちは、他者を助けることに喜びを見出しますが、バランスを取るという難題にも直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません。

私のテーマの色としてオレンジとスカイブルーを選んだのは、このためです。オレンジは、秋の主な色として、季節の移り変わり、つまり、一つの段階の終わりと別の段階の始まりを表しています。実際、オレンジ色は変化を表す主な色です。

一方、青は、知識と知性、つまり信頼性と忠誠を連想させます。青は、オープンなコミュニケーションへの意欲を与えます。これらの色の組み合わせは、自分自身を変え、世界を変えながら共に前進したいという熱い思いを表しています。

ということで、前置きが長すぎました。２０２４－２５年度のテーマを聞く準備はできていますか？

では、テーマをお教えしますが、その前にある逸話を簡単にご紹介します。

数年前、私はドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝っていました。浄水器の片方から汚い水が入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。その水の流れを最初に止めた時のことを、私は決して忘れません。少年の一人が私の袖をつかんで、「もう一度魔法を見せて」と言ったのです。

もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、受益者の方々と協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わると

いうことを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです。

このため、私たちの年度のテーマは、「ロータリーのマジック」です。

誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。

それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです。

皆さまの地域のクラブを突き動かすものが何であれ、「ロータリーのマジック」がそれを促進します。ロータリーファミリーに新会員を加えることで、「ロータリーのマジック」を広げることができます。女性と女児の力を解き放つことで、「ロータリーのマジック」を解き放つことができます。世界に変化をもたらすための資金を募ることで、「ロータリーのマジック」を前進させることができます。

ロータリー会長、そして地区ガバナーとしての私たちの１年が終わるとき、このマジックが続いていくようにする準備ができている人が大勢いるかどうかは、私たち次第です。

私はロータリーファミリーを愛しています。この会場でその愛を感じることができます。だからこそ、皆さまには地区のすべてのクラブを魅力的にする力があると知っています。

この国際協議会は永遠に続くわけではありませんから、どんなに小さな瞬間も最大限に活用してください。束の間のつながりが生涯の友情につながるかもしれません。学んだシンプルなことが、皆さまのロータリー人生を変えるかもしれません。そのような機会を見逃さないでください。

家に帰ったら、「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょう。

ガバナーは語る

ロータリーのマジック

２０２４年１月８日、アメリカフロリダ州オーランドでの国際協議会にて、ステファニーA．アーチック国際ロータリー会長エレクトの次年度テーマが発表されました。

「ロータリーのマジック（The Magic of Rotary）」です。

アーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で自らロータリーの浄水器設置活動に携わったときに、「ロータリーのマジック」を目にしました。汚い水が浄水器のフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを二人の少年が見ていました。少年の一人がアーチック氏の袖をつかんで言いました。「もう一度魔法を見せて」と。

アーチック氏は言います。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、受益者の方々と協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを少年たちは知っていました」

続けてアーチック氏は言います。「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです」

つまり、アーチック氏は、世界中のロータリアンに、多くの人びとを救うロータリーの力（ロータリーのマジック）を認識して、これをさらに広げるよう呼びかけているのです。明快で説得力のある論理とフレーズです。

アーチック氏の講演で、私が注目したもう一つの視点があります。それは、アーチック氏がこの浄水器設置活動を通じて、ロータリー活動が多くの人びとの人生を変える力を持っていることを体験した際に、「私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」と述べているところです。

ゴードンR.マッキナリー国際ロータリー会長が、メンタルヘルスの重要性を説き、「私は、ロータリーが会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるようになってほしいと思います。メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と。ほかの人を助けることで、ストレスが軽減され、気分がよくなり、私たち自身のメンタルヘルスと幸せのためにもなることが、圧倒的な証拠で示されています。その中で培われる友情は、素晴らしい連帯意識と仲間意識を育み、それ自体がメンタルヘルスと幸せに欠かせない要素となります」と述べているくだりと同じ視点なのです。

アーチック氏が平和構築を強調するくだりで、「今日、覚えておいていただきたいことが一つあります。それは、平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければならないということです」と述べ、マッキナリー氏が、「世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます」と述べていることと同じ視点です。

それはつまり、世のため人のために自分が持っている能力を全力で心を込めて捧げる、そうした利他の精神が自分の幸せにつながる、そして自分を活かす道であるという「奉仕の理念」の哲学、「超我の奉仕」そして「最も良く奉仕する者、最も多く報われる」という二つのモットーにも結びつく視点であり、これこそが「ロータリーのマジック」なのかも知れません。

ローターアクトクラブからのお願い

地区ローターアクト代表
板垣 沙織（鶴岡ＲＡＣ）

現在、国際ロータリー第２８００地区のローターアクト（ＲＡ）は３０名ほどの人数で活動しております。会員の大半はＲＣ会員の企業の従業員、大学生、米山奨学生となっております。学生は山形で就職する方もおりますが卒業と共に山形を離れる方も多く、今在籍している企業派遣の会員はＲＡ歴８年以上の会員が半数以上で、その中で今年度、次年度で卒会する会員もいるため、今のままでは存続の危機です。

また、５名以下で活動しているローターアクトクラブも多数あり、毎年同じ会員が会長をせざるを得なかったり、毎年何かしらの役職につかざるを得なかったりと、日々の仕事をしながらの中、負担が大きくなっているのが現状でございます。

そこで３月２３日（土）及び２４日（日）に全国ＲＡ研修会を控えている今だからこそ、会員拡大に力を入れて一気に会員を増やし、新会員、新会員候補者に全国ＲＡ研修会にも参加いただき、ＲＡＣの素晴らしさややりがいを体感していただきたいと考えております。

そこで皆様にお願いがあります。「会員拡大ローラー大作戦」と題し、以下のプロジェクトを行いますのでご協力お願いいたします。

①グループ内にＲＡＣがあるＲＣの例会にメークアップさせてください。ＲＡＣ会員、ＲＡ委員会委員でメークアップして、各ＲＣ会員様に１８歳以上の従業員の入会のお願いをさせていただければと思います。後日入会希望者向けに簡単な説明会を予定しております。

②３月２３日（土）及び２４日（日）の第３６回全国ＲＡ研修会山形大会に１８歳以上の従業員の方をぜひ参加させてください。全国から３００名近くＲＡＣ会員が集まります。

③６月１日（土）のＲＹＬＡ（ロータリー青少年指導者養成プログラム）にも参加お願いします。

④６月１５日（土）山形県鶴岡市にて１年の集大成である国際ロータリー第２８００地区ＲＡ地区年次大会が開催されます。そちらにもご参加お願いいたします。

参加いただきＲＡＣの楽しさを知っていただけたらぜひそのまま入会いただき、次年度、７月１日以降もＲＡＣ会員として様々な活動を継続していただければと思います。

私たちＲＡＣ会員のみでは力不足な部分もあり、ぜひＲＣ会員の皆様のお力添えをいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

第３６回全国ローターアクト研修会への参加のお願い

第３６回全国ローターアクト研修会
実行委員長　三浦 友介（鶴岡ＲＡＣ）

今年度、当地区ローターアクトで「第３６回全国ローターアクト研修会」をホストすることになり、少人数ながら２年前から着々と準備を進めています。

当研修会は、１９７３年から、当時は「全国ローターアクトガバナー懇親会」という名称で開催されてきました。今まで全国の地区が毎年持ち回りでホストをしてきた研修会を今年度初めて第２８００地区で開催します。こんなチャンスは今後３０年以上ないのでないかと私は思っています。

さて、この研修会は以下の５つを目的としています。

１）ローターアクト地区間のより良い信頼関係を推進するための機会

２）ローターアクト活動の建設的な意見交換、情報交換のための機会

３）ローターアクト会員の親睦と友好のための機会

４）参加者の指導力養成のための機会

５）ローターアクトの活動を広く紹介するための機会

ここにはロータリーという言葉は入っておりませんが、ローターアクトもロータリープログラムの1つから独立した存在となりましたので相互理解を深めるためにもロータリアンの皆様からもご参加いただき、ローターアクトを知ってもらう、また、逆にロータリアンの在り方を伝えてもらうことが必要不可欠です。

今回、「機会創造」を研修会テーマとして掲げています。当研修会では多くの出会いと学びから新しいチャンスを創り出していく、そんな研修会にしたいと考えています。

そのため、今回準備しているプログラムは「学び」に重点を置いています。

プログラム１では、当地区の鈴木一作パストガバナーによる基調講演、プログラム２では、国際交流経験のあるローターアクター３名と、世界で初めてローターアクトとしてグローバル補助金活用の承認を得たクラブ（大阪東ローターアクトクラブ）の会長によるパネルディスカッション、プログラム３では、ローターアクターは魅力発掘をテーマにしたグループディスカッション、ロータリアンはローターアクトとの関わり方に関する基調講演、討論会、２日目のプログラム４では、認定ＮＰＯ法人Future Code代表理事の大類隼人様による基調講演を準備しております。

実は当研修会、今でこそ上記のようなプログラムですが、２年前の計画では全く違うプログラムを計画していました。しかし、実行委員会の皆様をはじめ、ロータリアンの皆様ともあーでもない、こーでもないと本音で話し合いを行ったことにより、当初よりも更に深みのあるプログラムが出来上がりました。これは前例踏襲にとらわれず考え抜いた結果です。

当研修会はローターアクターにとってはもちろん、ロータリアンにとっても非常に有意義な研修会となることでしょう。参加目標人数は４００人です。参加する人数が多ければ多いほど「機会創造」のきっかけは多くなります。第２８００地区を大いに盛り上げるためにも是非、一人でも多くのロータリアンの皆様にご参加いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

開催日：令和６年３月２３日（土）・２４日（日）
場　所：山形テルサ
懇親会：ホテルメトロポリタン山形
テーマ：機会創造
登録費：１２,０００円

羽黒高校インターアクトクラブ活動視察報告

地区委員会　インターアクト委員会　髙橋　直幹（鶴岡東ＲＣ）

１２月２０日(水)羽黒高等学校インターアクトクラブに、伊藤ガバナーはじめ１２名のロータリアンで参加いたしました。

一番最初にインターアクトの生徒達から活動報告をして頂きました。

コロナ渦活動制限もありましたが、４月４日(火)羽黒・芸術の森ボランティア、５月１７日(水)鶴岡東ＲＣ合同例会、５月２７日(土)・２８日(日)小さな森の市ボランティア、６月２日(金)・３日(土)インターアクト年次大会、８月１日(火)休暇村駐車場整備、１０月１１日(水)はぐろ大家族会議、１０月１８日(水)街頭募金羽黒A-COOP、１０月２４日(火)リーダー研修会、１２月９日(土)ＩＭ出席と多くの活動に前向きに参加し、生徒皆さん試行錯誤しながら活動した旨の報告がありました。当地区での若い生徒たちの積極的な活動が、地区の励みになり、希望、発展につながると思われました。

また来年度に向けての具体的な活動目標を検討いたしました。

一番印象的だったのが、昨年は年次大会１泊２日の予定での他校との交流を深める事業を実施しましたが、羽黒高等学校の生徒は宿泊できず、そのことを生徒たちがとても悔しがっていたということです。

次年度は是非宿泊をともにし、交流を図って頂きたいと思いました。

羽黒高等学校では、インターアクト活動は生徒会が運営しているそうですが、生徒全員に認知度を上げて積極的にボランティア活動を通して一人でも多くの協力者を増やしていきたいそうです。

今回参加させて頂きまして、限られた時間ではありましたがインターアクトの方たちが非常に楽しく取り組んでいる姿、笑顔に改めてインターアクトの意義を実感させて頂きました。私たちロータリアンも、多くの方々にインターアクトを深く理解して頂き、今後社会人として出発していく若い世代に少しでも役に立つことができればと願っております。

また若い力が地域の活性化につながると思いますので是非生徒皆様からは生まれ育った故郷の発展にご尽力いただきたいと思いました。

米山 New Year Party

米山奨学・米山学友委員会
委員長　芦野　茂(山形西 RC)

１月１３日(土)、レストラン「コンフェッティ」にて米山Ｎｅｗ　Ｙｅａｒ　Ｐａｒｔｙが開催されました。

伊藤三之ガバナーから新年のご挨拶があり、今年度の活動や地区大会でのポリオ募金へのお手伝いに対するねぎらいの言葉も述べられました。米山奨学会評議員齋藤榮助ＰＧの乾杯で、パーティーは和やかな雰囲気で始まりました。食事と会話を楽しんでいる最中に奨学生のスピーチもあり、山形での思い出や米山奨学生になって良かったことなどが話の中心となっておりました。奨学生たちはリラックスし、お酒を楽しみながらお互いに連絡先を交換したり、最近流行している事を教え合う場面もあり、和やかな雰囲気に包まれました。このパーティーの目的は、歓送会(卒業式)前に米山奨学生たちが経験したことや将来の進路、山形での思い出などの情報を共有するとともに、今後の委員会活動の参考にすることでした。

最後に、奨学生を裏で支えてくださいました事務局の菅野さんへ奨学生全員より花束の贈呈があり、奨学生代表でアバスさんがお礼の言葉を伝えました。

奨学生たちの意外な一面が見られ、有意義な交流の場となりました。右下は二次会の写真です。

第４回 青少年交換委員会
オリエンテーション＆クリスマスパーティー

青少年交換委員会
委員長　佐藤　聡（鶴岡南ＲＣ）

２０２３年１２月１６日(土)、寒河江チェリーパークホテルにおいて１泊２日の日程で、第４回青少年交換委員会･オリエンテーションが開催されました。伊藤ガバナー､矢口青少年奉仕アドバイザー､芳賀ガバナーエレクト、小松ガバナーノミニー、遠藤青少年奉仕委員長から挨拶があり、その後、２０２４年夏に派遣される派遣候補学生の派遣国が発表されました。小板橋杏子さん(スポンサークラブ 山形北)はイタリア(地区未定)、伊藤心音さん(スポンサークラブ 鶴岡西)はアメリカ・カナダ西海岸にまたがる５０２０地区に派遣されることが内定しました。派遣国が決まり、具体的な生活をイメージしながら準備を迅速に進めていくことが期待されます。

委員会の場面で、来日学生が、青少年交換委員会の中では来日後初めてとなる自己紹介を行いました。母国の家族や学校の写真などをスクリーンに映し出し、日本語でプレゼンテーションをしました。学生たちのバックグラウンドを知るとともに、日本語の上達が着実に進んでいる様子がうかがえました。

その後､｢ホストクラブ・スポンサークラブ｣､｢来日学生｣､｢派遣候補学生｣に分かれての分科会が行われました。今年度ホストを務めているクラブからは来日学生の近況や課題が話され、クラブと学生双方にとって有益な交換とするための方策が共有されました。派遣候補学生は､渡航に向けて成績証明書の取得や健康診断､予防接種などの手続きが必要になります。渡航ビザの取得を確実に行えるよう今後の進め方について確認が行われました。

オリエンテーションの後は、楽しいクリスマスパーティーが催され、伊藤ガバナーサンタと芳賀ガバナーエレクトサンタから学生たちにクリスマスプレゼントが贈られました。アトラクションでは、芳賀ガバナーエレクトが新調したハーモニカで本格的な演奏を披露し、ソフィ(メキシコ、ホストクラブ 東根)はむらやま徳内まつりの勇壮な踊りを、アイラ(カナダ、ホストクラブ 寒河江)は自らのルーツであるスコットランド伝統のハイランドダンスを見事に踊り、拍手喝采を浴びました。大江ロータリークラブの伊藤さんからは､来日学生の写真がプリントされたケーキを用意していただき、得意のマジックでパーティーを一層盛り上げていただきました。

翌朝のオリエンテーションでは、派遣候補学生から日本語で決意表明があり、外国での学生生活を見据え意欲が示されました。決意表明は、次第に英語や派遣先の言語で述べることが求められるようになります。最後に、出席したロータリアンとＲＯＴＥＸ全員から派遣候補学生への期待を込めたメッセージが贈られました。

青少年交換学生マンスリーレポート

2023.12.20 報告

深瀬 裕正さん

（東桜学館高等学校）

派遣地区：Ｄ４１４０

派遣国：メキシコ

スポンサーＲＣ：東根ＲＣ

　こんにちは、裕正です。メキシコにきて約半年がたちました。

　日本は今頃雪が積もっている時期でしょうか、メキシコの多くの地域では雪が降らないので、正直雪が恋しいです。今現在メキシコでは、町中がクリスマスで盛り上がっています。雪は降りませんがとても寒いです。

　そろそろ、ホストファミリーと過ごす時間も残り２週間余りとなってしまいとてもさみしいです。

　今のホストファミリーとは、僕がメキシコに来たばかりのころからお世話になっていて、迷惑をかけたこともたくさんあったと思いますが本当に感謝しています。また、今月はホストじいちゃんとホストブラザーの誕生日がありました。メキシコでは、誰かの誕生日の時にはケーキを顔面にぶつけるといった、伝統的なことをします。本当に楽しい行事ですが、おじいちゃんにもやっていた時には、とてもびっくりしました。

　学校はなく冬休みに入っています。友達とジムやパーティーに行ったりしていて充実しています。

　最近は、メキシコに来る前よりも、本当にポジティブになったと感じています。学校以外でも本当にたくさんの友達ができました。ここ半年で成長を感じることができたのがうれしいです。

　今月は、メキシコシティーに行ってきました。遊園地に行ったり、有名な美術館にも行きました。また、マヤ文明で有名な大きなピラミッドにも行ってきました。今はそれなりにスペイン語も英語も話せるようになってきていてうれしいです。

　今月は「ポサダ」というイベントがありました。これは、メキシコのクリスマスパーティーのようなものです。このイベントは、クリスマス前の１２月１６日から１２月２４日にかけて行われます。

　ポサダは、家族や友達と行い、ピニャータと呼ばれるものを割ります。ピニャータの中には、お菓子が入っています。そのあとには、玄関の前に立って歌を歌ったりします。

　メキシコにきてもう半年たったと思うと信じれない気持ちでいっぱいです。また、今月僕の友達の一人が国に帰ってしまうので、それも相まって少し悲しいです。残り半分、後悔しないように過ごそうと思ってます。

2023.12.28 報告

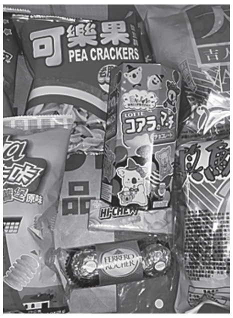
菅原 倖夏さん

（羽黒高等学校）

派遣地区：Ｄ３４９０

派遣国：台湾

スポンサーＲＣ：鶴岡ＲＣ



　皆さんこんにちは。台湾は本格的に冬を迎え、ほとんどの人がダウンを着るほど毎日寒い日々が続いています。

　１２月６日には、学校で私たち留学生４人が全校生徒の前で自分についてや、自分の国のことについての発表をしました。自分がどこの国で、どんな地域に住んでいるのか、そして自分の地域ではどんなものが有名なのかなどを発表しました。発表する時の言語は中国語か英語

のどちらでもよかったのですが、私はせっかくの機会なので全て中国語で発表することに挑戦しました。私はあまりうまく話せなかったなと思いましたが、生徒の皆さんが反応しながら私の発表を聞いてくれたので嬉しかったです。

２３日には３４９０地区の留学生みんなでクリスマスパーティーが行われました。パーティーは夜に行われて、日中にはボランティア活動を行いました。内容はゴミの分別を実際に行ったり、環境汚染について施設の方のお話を聞いたり、車椅子のタイヤのゴムの部分をはめる作業でした。私自身も普段からゴミの分別は意識していますが、ゴミ回収場で行った分別作業は本当に細かくて、改めてゴミの分別の大切さを知りました。クリスマスパーティーではみんなドレスアップをして男女で社交ダンスをしたり、自分たちの好きな曲を流して踊ったりしました。日本では経験したことのない楽しく、貴重な体験をすることができました。今まで全然話したことのなかった他の留学生と一緒に写真を撮ったり、様々な交流ができて本当に充実した時間を過ごすことが出来ました。

２５日には、クリスマスなのでクラスの友達とクリスマスプレゼントの交換をしました。日本にいた時は学校でそのようなことをしたことがなかったですが、台湾の生徒は毎年友達同士でクリスマスプレゼントを交換し合うようでした。私は日本から持ってきたお土産をプレゼントしました。心から喜んでくれているようでよかったです。

今の私の中国語のレベルは、会話をしている時に少しその話題を広げられるようになり、会話のキャッチボールが以前よりスムーズにできるようになってきました。そして、周りの方々から「中国語上手くなったね！」と褒めていただくことが多くなって更にモチベーションが上がりました。これからも中国語の勉強を更に頑張りたいです。

2023.12.28 報告

國井　梓さん

（日大山形高等学校）

派遣地区：Ｄ５０２０

派遣国：アメリカ合衆国・カナダ

スポンサーＲＣ：寒河江ＲＣ

１２月になり、本格的に冬が始まりました。こちらは朝と夜がとても寒いですが、雪は滅多に降らないそうです。日本でも今年は雪が少ないと聞いています。１２月は楽しいイベントが沢山ありました。

１２月７日は私の誕生日でした。朝からホストファミリーがサプライズで朝ごはんのパンケーキにろうそくを立ててくれていたり、装飾やプレゼントを用意してくれていました。学校でもホストブラザーが食堂で友達を呼んで、誕生日の歌を皆で歌ってくれました。そして週末に友達を家に呼んで誕生日会を開きました。そこには韓国人とスペイン人の交換留学生を含めた１１人の友達が駆けつけてくれました。アメリカでは誕生日にケーキに顔をつけるというのが伝統のようで、私もそれを行いました。ロータリーのホストカウンセラーからも私の誕生日を祝って頂きました。１８歳という大きな区切りの年にアメリカで祝えたことを誇りに思います。

そして１２月といえばクリスマスです。アメリカ人はクリスマスが大好きで、必ずと言っていいほど、各家庭に大きなクリスマスツリーがあります。そしてツリーに装飾をし、その下には沢山のプレゼントを置きます。クリスマス当日は祖父母やいとこなどを含めた家族が集まり、プレゼントをお互いに交換します。一人一人が個人的にいくつものプレゼントを用意するので、とても多くのプレゼントを貰えます。私は中学生になってからプレゼントが届かなくなったので、ここでのクリスマスが大好きになりました。

また、ホストファミリーが変わりました。私は以前のホストファミリーが大好きだったのですごく寂しい気持ちと、新しいホストファミリーは全員ベジタリアンでホストシスターとシェアルームしなければならないので不安な気持ちもありました。しかし、彼らは翌日からサファリパークのような所へ連れて行ってくれ、とても楽しいひと時を過ごすことができました。シェアルームについても、ロータリーの方々から、「アメリカの大学に行くことになったら、シェアルームは必ずと言っていいものだから良い練習になるね！」と言われたので、これも一つの大切な経験として頑張りたいと思います。そして私は今スポーツをしておらず運動不足なので、野菜を沢山食べて体を引き締めようと思います。

〈 ガバナー公式訪問 〉

天童東ロータリークラブ

会長/野川 昌弘　　幹事/髙橋 英治　　例会場/天童ホテル

２０２３年１２月１３日(水)

天童東ロータリークラブに国際ロータリー第２８００地区伊藤三之ガバナー、富塚充地区統括副幹事、山科専一地区副幹事、岡誠司地区副幹事、菅野亜梨子地区大会実行委員をお迎えして、公式訪問例会が行われました。

例会に先立って行われた会長・幹事会では、野川会長より歓迎の挨拶と本年度のクラブテーマ、重点項目、地区補助金を利用した継続事業の説明等を行いました。伊藤ガバナーからは、クラブ定款やロータリー哲学等に関して、会長、幹事に知っておいて頂きたいガバナーのお考えを分かり易くご説明頂きました。当クラブの継続事業につきましても、更に磨きをかけて頂きたいとのご要望も頂き、ガバナー月信や地区公式ＬＩＮＥ等を利用した情報を活用した例会の充実、地区委員を招いての例会など、これからの例会運営に参考になるお話を頂きました。伊藤ガバナーの持ち前のバイタリティの高さ、ポジティブな考えに感銘を受けながら、終始和やかな雰囲気の中、意見交換ができました。

例会におきましては、伊藤ガバナーより２０２３－２０２４年度ＲＩテーマと地区基本方針、クラブ定款など、丁寧に分かり易く説明して頂き、会員一同真剣にお話に聞き入っておりました。

その中で伊藤ガバナーは、「ロータリーの目的は、それぞれの人生の価値を高めることにある」とお話しされました。伊藤ガバナーの温かい真摯なお人柄が感じられました。

本例会は、国家斉唱、ロータリー目的の唱和、ハッピーバースデーの合唱、握手タイムと、お酒を酌み交わしながらの懇親会、そして最後には手に手つないでを合唱し、大変有意義な公式訪問例会となりました。伊藤ガバナーありがとうございました。

新庄市長 表敬訪問

ガバナー補佐　佐竹 義弘

１月１６日(火)午後２時から、伊藤三之ガバナー、佐竹義弘ガバナー補佐、新庄ロータリークラブの峯田洋一会長、村井芳紀幹事、山形北ロータリークラブの古川光伸地区委員の５名で新庄市役所を訪れ、山科朝則新庄市長を表敬訪問させていただきました。

山科市長が昨年まで県議会議員をされていた頃から伊藤ガバナーとは交流があり、さらに、山科市長は県議会議員になる前に新庄ロータリークラブの会員であったとのことで、終始和やかな懇談の場となりました。

青少年やロータリークラブ、さらには行政も含めた国際交流の在り方、ロータリークラブの会員増強などにも話が及びました。山科市長からは、ロータリーの活発な活動を期待しているとの発言もありました。

ガバナーは語る

アーチック会長エレクトのご講演から

２０２４年１月８日、国際協議会でのアーチック会長エレクトのテーマ発表とご講演のうち、「ロータリーのマジック」というテーマにつきましては6頁の「ガバナーは語る」で述べたとおりです。ここでは、ご講演のうちそれ以外のポイントについて述べます。

一つは、「平和を優先する」ということです。この困難な時代に前向きなイメージを広げ、積極的平和を広げるには、ストーリーテラー(語り部)が必要だとし、「分断された世界を癒す」ために、２０２５年２月にロータリー平和会議を開催する予定とのこと。アーチック氏は、世界各地の名門大学(日本ではＩＣＵ)にあるロータリー平和センター(ロータリー平和フェローシップ)に注目しています。

二つめは、「継続と変化のバランス」です。ロータリーが最も効果的で時代に即した存在になるためには、継続と変化のバランスを取ることが重要であり、どちらもロータリーの行動計画の原動力であると述べます。そして、好ましい変化をもたらすためには、クラブで多様性、公平さ、インクルージョンの原則(ＤＥＩ)を取り入れることが重要であると述べました。

新 会 員 紹 介

山形北ＲＣ

半 田　知 恵（はんだ ともえ）
職　　業/ GOODTIME(株)
役　　職/ 代表取締役
職業分類/ エステティック業
生年月日/ 1983年6月29日
入 会 日/ 2023年12月21日

山形北ＲＣ

鈴木　吉彦（すずき よしひこ）
職　　業/ (株)アイエス
役　　職/ 代表取締役社長
職業分類/ 特定施設
生年月日/ 1961年4月18日
入 会 日/ 2024年1月25日

米沢上杉ＲＣ

中村　智和（なかむら ともかず）
職　　業/ (株)青葉堂印刷
役　　職/ 専務取締役
職業分類/ 印刷
生年月日/ 1976年9月19日
入 会 日/ 2024年1月16日

米山功労クラブ

第 22 回　山形南ロータリークラブ

第 11 回　山形ロータリークラブ

第 7 回　東根ロータリークラブ

ロータリー財団表彰

メジャードナー

レベル 2 / 25,000ドル達成

寒河江ＲＣ
安孫子貞夫

レベル 1 / 10,000ドル達成

山形北ＲＣ
伊藤 三之

レベル 1 / 10,000ドル達成

山形北ＲＣ
本多 信昭

ロータリー財団寄付表彰

PHF+7

白鷹ＲＣ
芳賀 康雄

PHF+5

白鷹ＲＣ
江口 俊雄

PHF+4

山形北ＲＣ
武田 弥栄

PHF+3

山形北ＲＣ
武田 幸太郎

PHF

長井ＲＣ
大道寺　信

PHF

長井ＲＣ
浅野 敏明

米 山 寄 付 表 彰

第39回 米山功労者メジャードナー

寒河江ＲＣ
小松 栄一

第13回 米山功労者メジャードナー

東根ＲＣ
矢口 信哉

第6回 米山功労者マルチプル

山形北ＲＣ
吉田 眞一郎

第4回 米山功労者マルチプル

山形北ＲＣ
武田 弥栄

第3回 米山功労者マルチプル

東根ＲＣ
髙橋 則好

第2回 米山功労者マルチプル

山形中央ＲＣ
小林 敏郎

第1回 米山功労者

山形中央ＲＣ
後藤 完司

第1回 米山功労者

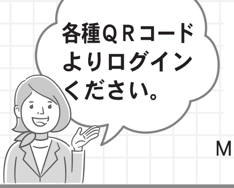
東根ＲＣ
信田 信一

第1回 米山功労者

米沢上杉ＲＣ
木村 兼悟

第1回 米山功労者

米沢上杉ＲＣ
加藤 富士雄



MyRotary

地区
ホームページ

地区公式
Facebook

地区公式
LINE

コーディネーター
NEWS

ハイライトよねやま
vol. 286

FEBRUARY 2024

２月の地区スケジュール

Schedule of February 2024

■ **平和構築と紛争予防月間**

世界に希望を生み出そう

1	木	
2	金	
3	土	米山奨学生歓送会
4	日	
5	月	
6	火	G公式訪問（山形中央）
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	R 財団補助金管理セミナー（GE）
11	日	(建国記念日)
12	月	(振替休日)
13	火	G公式訪問（山辺）
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	第５グループ IM
18	日	
19	月	G公式訪問（山形イブニング）
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	(天皇誕生日)　諮問委員会③　　地区チーム研修セミナー②(GE)
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	

Rotary District 2800

国際ロータリー第 2800 地区 事務局
〒994-0027 山形県天童市桜町 2-20
TEL.023-687-0208 FAX.023-687-0209 E-mail : office@rid2800.org
http:// www.rid2800.jp/